
栃木県北部・中部エリアにおける 電源接続案件募集プロセスの 概要について

1. 電源接続案件募集の概要

(1) 募集する事業者さま

募集対象エリア内の高圧または特別高圧の送電系統に連系する発電設備等の設置を希望する事業者さま

- ・平成25年度までに電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法第6条に定める認定を受けた再生可能エネルギー発電設備で同一事業地における50kW以上の設備を、50kW未満の設備に分割したものを含む

(2) 募集対象エリア

宇都宮市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷郡、那須郡、栃木市の一部、鹿沼市の一部、真岡市の一部、下野市の一部、河内郡の一部、芳賀郡の一部、下都賀郡の一部

(3) 募集対象工事

154kV栃山線開閉所新設工事、 新栃木変電所500/154kV変圧器増設工事
(総工事費：約3,480百万円、土地代約140百万円含まず)

(4) 募集対象工事費

新費用負担ルール(※1)における特定負担

約140百万円 (総工事費との差額 3,340百万円は一般負担)

[参考] 旧費用負担ルール(※2)における特定負担

約3,480百万円 (総工事費, 土地代含まず)

※1: 発電設備の設置に伴う電力系統の増強及び事業者の費用負担等の在り方に関する指針(H27.11.6公表、資源エネルギー庁。以下、「費用負担GL」といいます。)に基づく費用負担ルールのこと

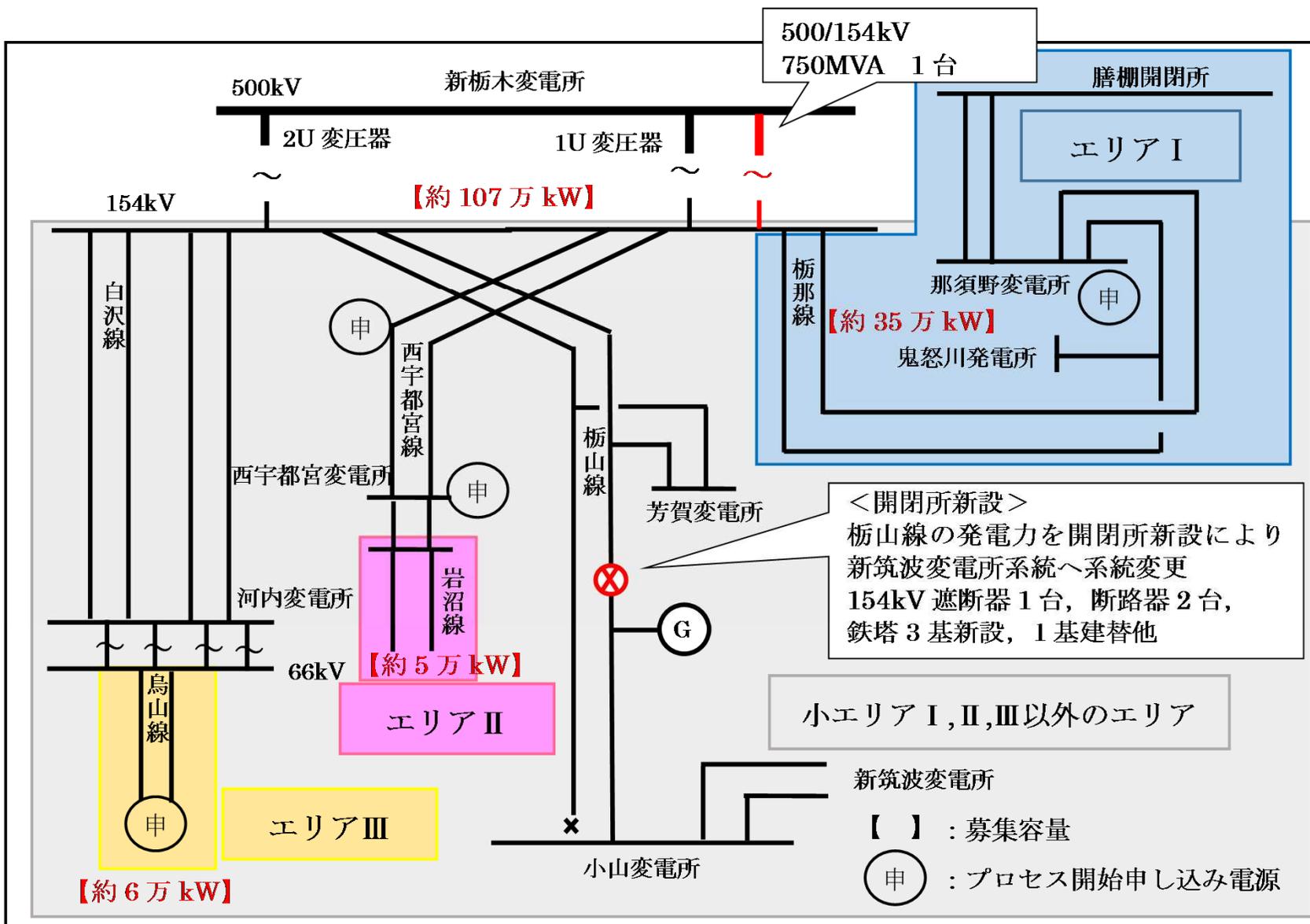
※2: 費用負担GL公表前の費用負担ルールのこと

(5) 募集容量

約107万kW (ただし、エリアⅠ:約35万kW、 エリアⅡ:約5万kW、 エリアⅢ:約6万kW)

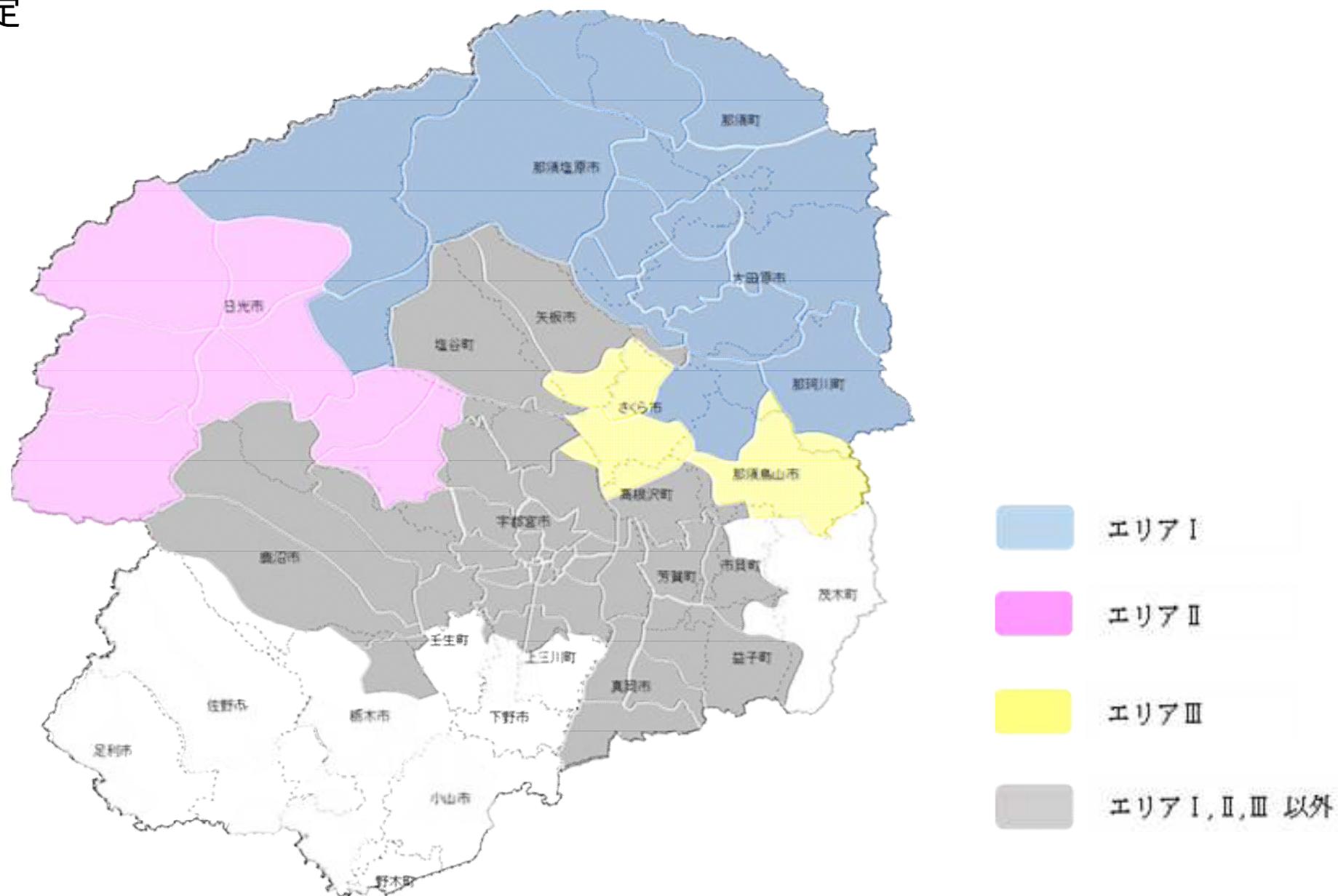
2. 募集対象工事の概要

- ・ 154kV 栃山線開閉所を新設し、新栃木変電所に流れ込む発電力を新筑波変電所に切替
- ・ 新栃木変電所に500/154kV変圧器（容量 750MVA）を1台増設し、受け入れ容量を増加



3. 募集対象エリアの概要

- ・長期間に亘る対策工事(約10~15年)を回避するため、154kV栃那線の系統をエリアⅠ、66kV岩沼線の系統をエリアⅡ、66kV烏山線の系統をエリアⅢ、とそれ以外のエリアに設定



4. 入札における新・旧費用負担ルールの適用について

(1) 新・旧費用負担ルール適用

- ・ 費用負担 G L 公表後の新契約申込者は新費用負担ルール適用
- ・ 費用負担 G L 公表前の既契約申込者は旧費用負担ルール適用選択可
(新費用負担ルール適用時は、既契約申込みを取り下げ)

(2) 最低負担金単価

- ・ 新費用負担ルール適用者

新費用負担ルールにおける特定負担額を募集容量で除した単価

(参考値 : 140円/kW \div 140百万円/107万kW)

- ・ 旧費用負担ルール適用者

新費用負担ルール適用者の最低負担金単価 + 新費用負担ルールにおける一般負担単価

(参考値 : 3,260円/kW \div 3,480百万円/107万kW)

※3

※3: 新費用負担ルールにおける一般負担額[円] / 募集容量[kW]
3,120円/kW \div 3,340百万円/107万kW

(3) 系統連系優先順位の決定方法

- ・ 新費用負担ルール適用者 : 入札負担金単価
- ・ 旧費用負担ルール適用者 : 補正後単価

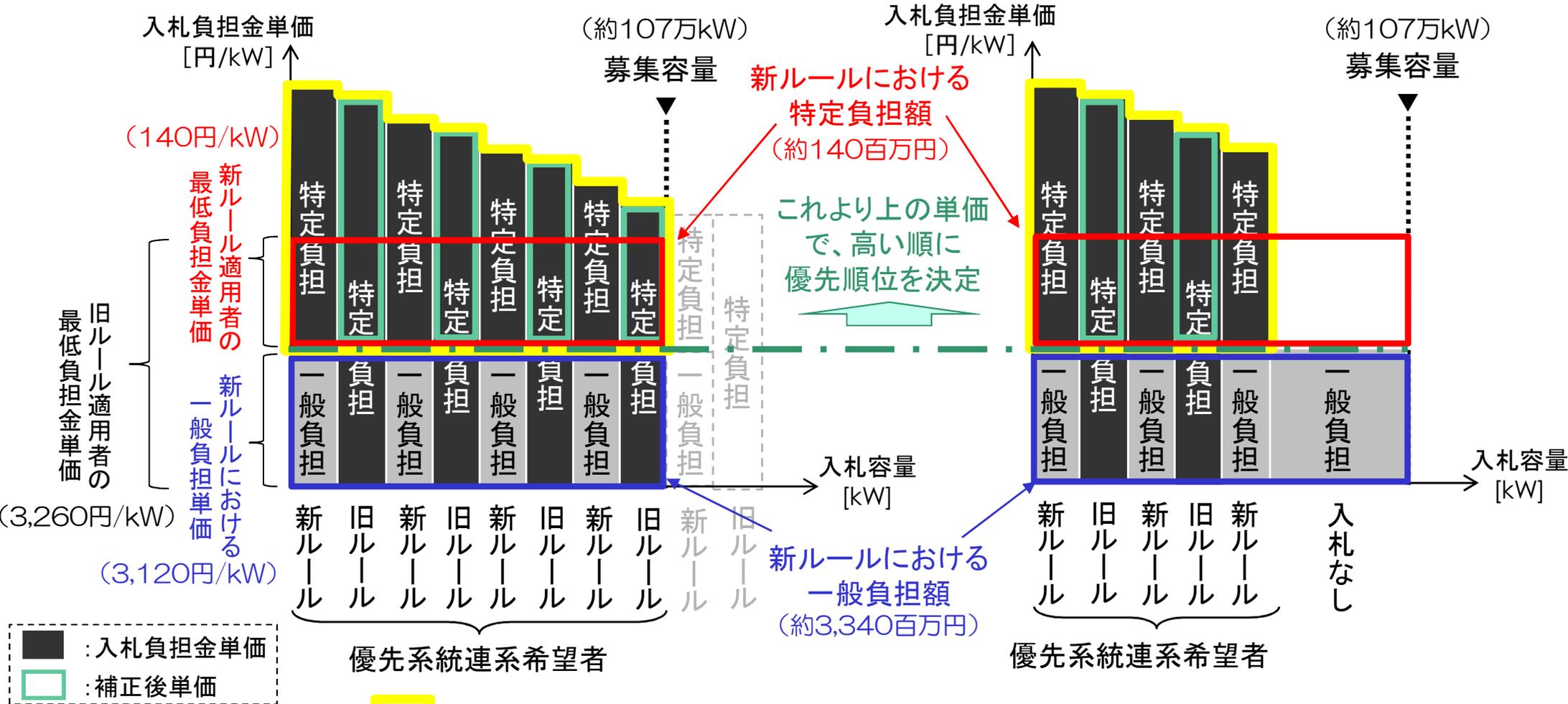
(補正後単価 = 入札負担金単価 - 新費用負担ルールにおける一般負担単価※3)

⇒ 新費用負担ルール適用者の入札負担金単価、旧費用負担ルール適用者の補正後単価を比較し、単価が高い順に系統連系優先順位を決定

4. 入札における新・旧費用負担ルールの適用について

【 募集容量 < 応募容量 の場合 】

【 募集容量 > 応募容量 の場合 】



(4) 入札の成立条件 : ① + ② + ③ ≥ ④ を満たす場合

- ①: 優先系統連系希望者のうち新費用負担ルール適用者の「入札負担金単価 × 最大受電電力」の合計
- ②: 優先系統連系希望者のうち旧費用負担ルール適用者の「補正後単価 × 最大受電電力」の合計
- ③: 没収された入札保証金の合計
- ④: 新費用負担ルールにおける特定負担額

5. 今回募集の特徴 (H26.7 実施の群馬北部との違い)

(1) 入札における新・旧費用負担ルールへの適用

(2) 応募状況に応じた募集対象工事の見直しを予定

募集容量に比べ、応募容量が著しく下回った場合等は、必要により、募集対象工事を見直す。(増強規模の縮小など)

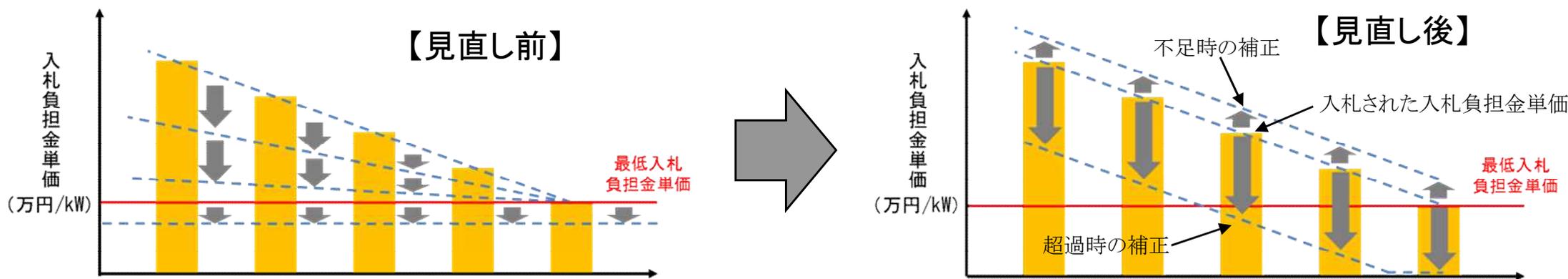
(3) 入札保証金の導入

事業者さま都合の辞退による募集プロセス遅延を抑制するため、入札時に入札保証金を申し受け、入札以降の辞退者さまから没収する。

入札保証金：入札額の5%＋消費税等相当額 または 20万円＋消費税等相当額
のいずれか高い方の金額

(4) 工事費負担金の補正方法の見直し

入札負担金合計が対象工事費を上回った(下回った)場合の補正方法を「最大受電電力按分で減額(増額)する[単価を一律に下げる(上げる)]ように見直し。



6. 電源接続案件募集プロセス概要フローについて

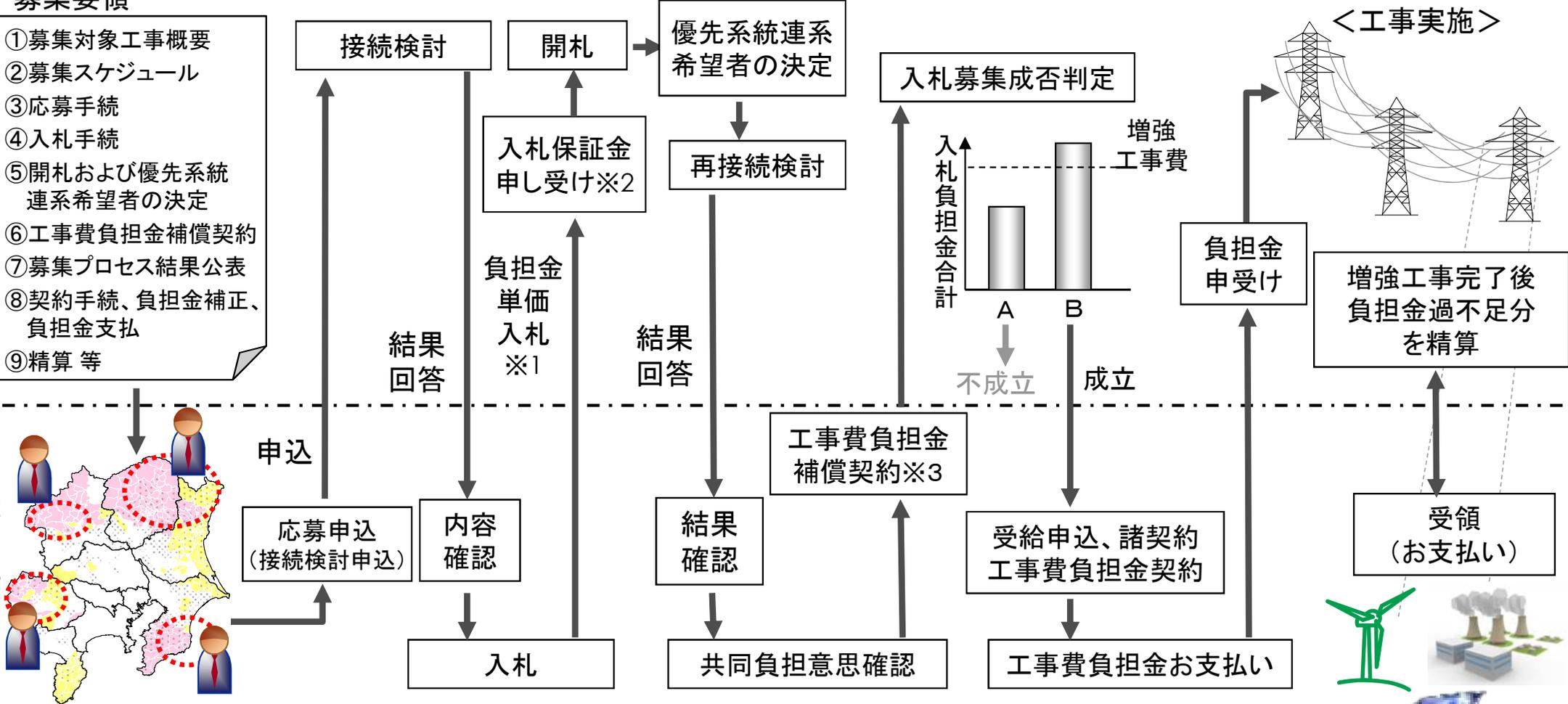


募集要領

- ①募集対象工事概要
- ②募集スケジュール
- ③応募手続
- ④入札手続
- ⑤開札および優先系統連系希望者の決定
- ⑥工事費負担金補償契約
- ⑦募集プロセス結果公表
- ⑧契約手続、負担金補正、負担金支払
- ⑨精算等

当社

事業者さま



※1 上位系統の送電容量対策工事について、最大受電電力1kWあたりの負担金単価を入札
 ※2 入札にあたり入札保証金を事前に申し受け、辞退時には没収
 ※3 単独事業者による系統連系と異なり、1工事に対し複数事業者で分担して費用負担することから、約款に基づく工事費損害分の弁償契約に加え、辞退時に当該事業者の工事費負担金欠損分を全額申し受ける補償契約を締結(締結をもって入札成否判定)

7. 電源接続案件募集プロセススケジュール等について(見直し後)

優先系統連系希望者の辞退により、再度の再接続検討が必要となりましたので、募集プロセス完了時期等は繰り延べとなっております。

今後のスケジュールについては、当社ホームページをご確認ください。

(1) 募集プロセススケジュール (スケジュールについては、応募の状況等により変更となる可能性があります)

H27.12.25	募集要領の公表	H28.8月上旬頃 ～中旬頃	入札の受付締切
H28.1.12	応募の受付開始		入札保証金の振込み期限
H28.1.26,29	説明会の開催		開札、優先系統連系希望者の決定(必要により抽選) 再接続検討の開始
H28.2.12	応募の受付締切 応募書類の内容確認	H28.10月中旬頃	再接続検討結果の回答
H28.2.19頃	接続検討の開始	H28.10月下旬頃 ～12月上旬頃	再接続検討結果を踏まえた共同負担意思の確認 工事費負担金補償契約の締結 電源接続案件募集プロセスの完了、結果公表
H28.7月上旬頃	接続検討結果の回答 入札の受付開始		

(2) 募集要領の説明会

※資源エネルギー庁からの要請によりスケジュールを見直しております。
詳細は、以下ホームページの「5. お知らせ」をご確認ください。

<http://www.tepco.co.jp/pg/consignment/system/recruitment.html>

①開催日時

平成28年1月26日(火) [第1回] 9時30分～11時30分

平成28年1月29日(金) [第2回] 10時～12時, [第3回] 14時～16時

②開催場所

栃木県宇都宮市本町1-8 栃木県総合文化センター

※開催場所へのお問い合わせはご遠慮ください。

③参加方法

募集要領の説明会に参加を希望される事業者さまは、当社ホームページに掲載されている参加申込書にてお申込みください [1月14日(木) 必着]

<http://www.tepco.co.jp/corporateinfo/provide/engineering/wsc/nyusatu-j.html>